庄農通信

校訓 行学一如（ぎょうがくいちにょ）

令和３年度第６号

山形県立庄内農業高等学校
〒999-7601 山形県鶴岡市藤島字古楯跡221番地
TEL 0235(64)2151
http://www.shonai-ah.ed.jp

令和３年11月24 日(水)発行
文 責 加 藤 千 恵

＜行事予定＞

＜11月＞
12日(金)
13日(土) 庄農祭
14日(日)
15日(月) 11/13(土)代休
16日(火)
17日(水)
18日(木) SC相談
19日(金) 生徒会選挙告示
20日(土)
21日(日)
22日(月)
23日(火) 勤労感謝の日
24日(水)
25日(木) ２学期期末テスト
26日(金)
27日(土)
28日(日)
29日(月)
30日(火)

＜12月＞
1日(水)
2日(木) １年献血講座
立会演説会
3日(金) 各種委員会
SC相談
4日(土)
5日(日)
6日(月)
7日(火)
8日(水) 修学旅行
9日(木)
10日(金)
11日(土)
12日(日)
13日(月) ２年12/11代休
14日(火)
15日(水)
16日(木)
17日(金)
18日(土)
19日(日)
20日(月)
21日(火)
22日(水) スポーツ大会
23日(木)
24日(金) 終業式
２，３年進路情報交換会

学校紹介ビデオはこちらから

庄内農業高校学校紹介ビデオ『庄農最高！庄農さ行こう！』QRコード

おもわず「マジでっ？！」と言っちゃう特別編

明治３４年開校　１万７千余名の卒業生を輩出

創立120周年記念式典挙行

「国の大本　農の業」の誇りを胸に決意新たに

１０月２９日（金）創立１２０周年記念式典を挙行しました。在校生、教職員のほか、同窓会三役、ＰＴＡ三役の方々が実行委員代表として御臨席くださいました。

本校は明治３４年「山形県庄内農学校」として開校し、以来今日に至るまで１万７千名以上の卒業生を世に送り出してきました。校長式辞では「変化の波が訪れつつある時代にあっても、食の大切さは変わらない。自らの未来を切り開くとともに、豊かで幸せな社会作りに貢献してほしい」と生徒への期待を述べました。

式典に臨む在校生

また、齋藤　隆瑞穂同窓会長から「国の大本　農の業」と校歌にあるように長きにわたって日本の食を支えてき120年の重みと歴代の同窓生の活躍を誇りに思う、先の見えない時代ではあるが、庄農生の活躍に期待する、とのお言葉をいただきました。

同窓会長挨拶

生徒会長の３年高橋由伸さん（酒田四中出身）は、「120周年の節目に学ぶことができることに感謝したい。先輩方が築いた伝統を守りながら新たな挑戦をして、農業のすばらしさを伝えていきたい。」と挨拶しました。

生徒代表挨拶

創立120周年記念講演
加茂水族館のクラゲ展示の軌跡
加茂水族館館長 奥泉和也氏

記念講演では、本校の卒業生であられる鶴岡市立加茂水族館館長の奥泉和也さんをお迎えしました。

子どもの頃から海と釣りが好きで海の仕事がしたいと加茂水族館に入ったこと、一時は存続の危機を迎えたが、偶然見つけたサカサクラゲを飼育・展示したところ好評を博し、本格的にクラゲの展示に取り組みはじめたこと、飼育や繁殖について試行錯誤を重ねたことなど、さまざまなエピソードをご紹介いただきました。現在は展示数で世界トップを独走し、世界中から研究者が視察に訪れているそうですが、奥泉さんは「自分はまだまだ発展途上中」と語り、「自分が好きなことを前向きな気持ちで続けること、諦めないで成功するまで何度でもトライすることが大切」というメッセージをくださいました。

奥泉　和也　氏

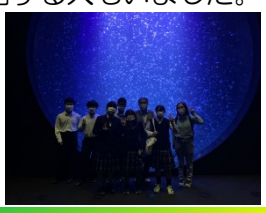
「地域で活躍するかっこいい先輩はみんな庄農の卒業生だった。自分もそうなりたいと憧れて庄農に入った。庄農で多くのことを学んだ。」と、庄農への思いも語ってくださいました。

創立120周年記念巨大絵作成

式場には、全校生徒・教職員で作成した、縦10m、横14m、色紙6万450枚からなる「七福神」の巨大絵が飾られました。

秋晴れの中 １学年 農事視察

　10月14日、1学年秋の農事視察で、湯殿山総本寺瀧水寺大日坊、なんば農園、鶴岡市立加茂水族館を見学しました。
　まずは鶴岡市大網の湯殿山総本寺瀧水寺大日坊へ。午後から6年に1度の即身仏御衣替というお忙しい日であるにもかかわらず、住職さんからご丁寧な説明をいただいた後、御衣替直前の真如海上人の即身仏も参拝させていただきました。
　続いて、鶴岡市大針地区にあるなんば農園で山葡萄の収穫体験をさせていただきました。代表の難波祐一さんは、本校卒業の大先輩です。作業後にいただいた冷え冷えの山葡萄ジュースは最高の味でした。
　午後からはクラゲドリーム館、鶴岡市立加茂水族館に行きました。癒やしのクラゲ、愉快なアザラシを観察し、またクラゲアイスを堪能する人もいました。



活躍する庄農卒業生にインタビュー
先輩からのメッセージ④

　第４回は、地元鶴岡市の農協で活躍する先輩からのメッセージです。

ＪＡ鶴岡　南支所　金融窓口係
叶野　優さん
（平成３０年度卒）
（バドミントン部）
（羽黒中出身）

①進路先を決めた理由は？
　高校まで農業に関わることが少なかったのですが、庄内農業高校に入り、３年間で普通の高校では学べないことを学びました。そのため、就職先を選ぶ時、他の人より農業に関して有利なのではないかと思ったからです。

②入社１年目はどうでしたか？
　専門用語が多く、入社初日もすぐ窓口をまかせてもらいお客さまと対面して業務を進めましたが、入社３，４日で周りの上司のような受け答えができないのはわかっていても、お客さまがその場で納得できるような答えが出せないというのがくやしかったです。しかし、日に日に慣れていくもので、１年も経てば基本的なことはわかっていたと思います。

③どんな仕事内容ですか？
　基本的にお金に関わる仕事です。
・通帳をお借りして、伝票に出したいor入金したい金額を記入してもらいその通りに機械に打ち込む
・税金の支払いの受け入れ
・農協で買ったもの（産直の野菜・花・農機具・肥料など）の請求書発送　など

④仕事のやりがいや苦労は？

・仕事内容を理解してくると、お客さまへの受け答えはもちろん、自分の気持ちに余裕が出てきて仲良く雑談もできるようになりました。そうしていくうち名前も覚えてもらえて、わざわざ指名してくれる人も出てきたのがとても嬉しいです。
・お客さまの対応で自分にとっては難しいと思うことがあります。

⑤後輩たちにメッセージを。
　最初が大変なのはあたりまえなので、わからないことは早い内に聞いた方がいいです。
　必ず最初に就いたところでずっと働けというわけではないです。やっぱり自分に合わなかったり、人間関係だったり、他にやりたいことができるかもしれません。自分の周りでも、仕事をしてみて内容が合わなかったり、人間関係だったりで、次の職場を探す人を見ます。そんなに気負いせず、自分のやりたいことをやってたくさん失敗していいです。私は３年目の今でもよくやらかします。

POINT!! 庄農スタイル

こだわりの味の評価は？ 試食会を行いました

　１１月３日に、藤島のたわらやさんにて試食会と庄農うどんの販売を行いました。
　加茂水産高校の皆さんと一緒に企画し、３年生が課題研究で取り組んでいるスイーツやスープなどを、一般の方に試食していただこうというものです。地元の菓子店とコラボして商品化を目指しているグループや、全国コンテストに出品するグループもあります。

加茂水産高との
コラボラーメン

ただちゃ豆の
スプーンクッキー

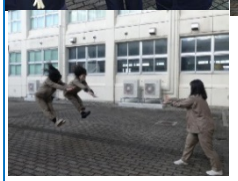
野菜嫌いの子どものために
にんじんケーキとピーマンクッキー

創立120周年記念
ニュービス新フレーバー

だだちゃ豆の
スープ

　この日は庄農うどんの販売もしました。来ていただいた皆様、ありがとうございました！

３年生卒業アルバム撮影



　みんないい笑顔です。卒業まであと３か月あまり。思い出に残る学校生活を。